

令和2年度の学習のまとめ

校長 市川 裕二

早いもので、もう、令和2年度も終わりに近づいています。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、臨時休業や行事の中止等、様々な異例の対応をせざるを得ない状況でした。こうした中、本校の教育活動等への御理解と御協力を賜りましたことにつきまして、この場をお借りして、厚く感謝申し上げます。

さて、3月は、いよいよ卒業式の時期になります。体育館も卒業式練習のための準備に入りました。今年度の卒業式は、昨年度と違って卒業学年の保護者の皆様に御参加いただけることになりました。1月に配布しました「令和2年度 卒業式について」でお伝えしたとおり、各御家庭2名までとさせていただきますが、是非、御参加いただき、卒業生のはれの舞台を応援していただければ幸いです。残念ながら、在校生の参加は、代表の児童・生徒のみとなります。また、来賓の方の御参加を御遠慮していただく形になっています。しかし、学校は在校生も含めて、学校全体で、卒業生をお祝いする気持ちでいっぱいです。関係機関等からもお祝いのメッセージが届くと思います。

また、3月は、全校保護者会を実施し、今年度のまとめと次年度の学校経営の方向について、保護者の皆様へ直接、御説明をすることになっていりましたが、緊急事態宣言が解除されていけませんので、書面にて、御報告させていただきます。資料を配布させていただきますので、御覧いただければ幸いです。

暖かくなってきました。新型コロナウイルス感染症が落ち着き、一刻も早く通常の状態に戻ることを願っています。

「節目」の時期

副校長 西村 孝法

日頃より本校の教育活動への御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。2月は寒暖差の大きな日が多く、体調管理が難しい気候が続きましたが、御家庭での健康維持への御協力のおかげで、日々の学習を積み上げることができました。併せて、マスクの着用、手指消毒など、新型コロナウイルス感染症対策への御協力をいただき、最初は苦手だったマスク着用にも慣れ、手洗い・手指消毒についても自然に行える児童・生徒が多くなりました。保護者の皆様の御協力に感謝申し上げます。

いよいよ3月、卒業・進学・進級への準備が大詰めの時期となります。卒業式練習や記念品の作成など、通常の授業の流れとは違った活動が多くなり、子供たちにとっては落ち着かない時期となるかもしれませんが、できる限り見通しをもって取り組み、将来につながる学習が実践できるように進めてまいります。御家庭におかれましても、これまでの学習の成果や成長を振り返ると共に、次年度へ向けての『目標』や『頑張りたいこと』などを話題にさせていただくと、年度替わりの「節目」として、気持ちも新たに新年度への準備ができるかと思います。

今後も、新型コロナウイルス感染症への対策が必要となります。御家庭でも、日々の健康維持、感染症予防に努めていただくと共に、本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



校内研究発表・新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導の充実

研修推進部

今年度の全校研究「新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導の充実」をテーマに、各教育部門の実情に応じた研修を進め、その成果をまとめ、2月12日に教員間で校内研究発表を行いました。

A部門は「自立活動の充実とそれを活かした授業改善～自立活動における6区分を生かした授業づくり～」をテーマに自立活動の充実に向けて自立活動室の指導との関係を深めるための「自立活動指導計画」の作成、保健室との連携を深めるための「健康管理指針」の作成を通して、一人一人の指導の充実を図ることに取り組みました。「自立活動指導計画」の作成にあたっては、教員による児童・生徒の実態把握が重要であり、そのことを基本として「自立活動指導計画」を作成することが障害の重い児童・生徒の指導の充実につながることを改めて確認できました。自立活動室と連携して、児童・生徒の障害の状態や学習習得の状況をしっかり把握した上で「自立活動指導計画」を充実させ、個別指導計画へ反映させ、連携しながら授業改善を今後も進めていきます。

B部門は「算数・数学の授業改善」をテーマに新学習指導要領に基づく算数・数学の学習状況を把握するためのチェックリストを作成・活用し、授業改善に取り組みました。チェックリストを活用することで、生徒の学習の進捗や理解度を正確に把握することができ、既習内容と未習内容の把握もできました。教員の学習指導要領への理解も深まり、授業内容が充実してきました。

年間を通して講師に、筑波大学人間系教授、川間健之介先生をお招きし、研修会等で新学習指導要領を理解するとともに、授業観察や授業研究を通して、授業改善について助言をいただきました。

来年度も継続して「新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導の充実」をテーマに研究を行い、A部門は「自立活動指導計画を活用した自立活動の充実と授業改善」を、B部門は「生活・理科・社会の授業改善」をテーマに、新学習指導要領に基づく学習状況を把握するためのチェックリストを作成・活用し、生活・理科・社会の授業改善に取り組む予定です。

生活指導部より一年間を振り返って

生活指導部

4月の臨時休業、6月の分散登校を経て通常登校が始まりました。コロナ感染症の大波に世の中が大きく動かされた一年でした。多難な一年ではありましたが、児童・生徒が健康に過ごせたことは、保護者の皆様の御協力があったからこそだと痛感しております。御家族の健康に御留意いただき、ありがとうございました。

感染症対策として始めたサーモグラフィーによる検温は、画面を児童・生徒側へ向けて、自分で確認できるようにしました。自分から意識して検温する、教員とやろうとする等、新しい生活様式に慣れてきました。スクールバス車内には簡易仕切り板を設置しました。「何かついているよ!」と興味津々の小学部の児童たちは、「あ、コロナのためだね」と合点していました。バスの出発前に車内を確認する際、これまでは児童・生徒の顔を一望できていましたが、のぞき込まなくてはなりません。人と人の距離が以前のようにになるとよいなと願いつつ、お子さんたちに心配をさせないよう引き続き感染症対策の指導をまいります。

登下校の安全では、学校前信号機の青色点灯の時間を長めにし、慌てず横断できるようにしました。スクールバスにおいては、バスの位置情報を保護者の皆様にも見ていただけるようGPSを取付けました。年度途中で御協力いただきバス停を数か所移動し、より安全に運行できるようにいたしました。

本校は安心・安全な学校であることを学校経営目標の一つに掲げています。年度初めにお渡しした「学校生活のきまり」を令和3年度版に改訂して4月に発行いたします。項目ごとに記載していますので、気になる点を時折めくって御確認いただければと思います。

新年度にあたり、通学届や下校時におけるヘルパー等利用届等ご提出書類もあります。また、自治体が発行するヘルプカード、通学時に必要な防犯ベルやGPS、携帯電話、折りたたみ傘等をお子さんに合わせて少しずつ御準備をよろしくお願ひします。

一年間、御協力ありがとうございました。卒業生の皆さん、御卒業おめでとございます。

